


アイティメディアID PDF出力対応プリント

複数ページの記事をまとめて印刷、PDFにも出力できます



スマートジャパン > 太陽光 > 北海道地震による大停電、85%の住宅太陽光ユーザー...

カスタム検索

太陽光：

## 北海道地震による大停電、85%の住宅太陽光ユーザーが自立運転を活用

太陽光発電協会は2018年9月に発生した北海道地震に伴う大規模停電で、住宅太陽光発電の自立運転機能がどれほど活用されたなどを調査。約85%が自立運転機能を利用し「停電時に有効に活用できた」との声が寄せられたという。

2018年10月30日 07時00分 公開

[長町基, スマートジャパン]

印刷	60	450	1
----	----	-----	---

**太陽光発電協会 (JPEA)** は2018年9月に北海道胆振東部地震によって発生した大規模停電に際し、太陽光発電の自立運転機能を活用された実態を把握するため、同協会の会員を通じて太陽光発電設備の設置者に対して、「太陽光発電の自立運転機能」の活用についてのアンケート調査を実施し、その結果を公表した。

今回の地震で、住宅用太陽光発電システムの設置者は、蓄電池を併設しないケースでも約85%が自立運転機能を利用し「停電時に有効に活用できた」との声が寄せられたという。



アンケートの結果によると、蓄電機能を併設していない太陽光発電システムのみを導入しているユーザーでは、自立運転機能を利用した件数（利用率）は85%（428件のうち364件）にのぼったという。

自立運転機能を利用した人からは「冷蔵庫の中の食材を腐らせずに済んだ」「炊飯器でご飯を炊くことができた」「携帯電話を充電できた。また、近所の方も充電することができた」「ポータブルTVで震災情報をいち早く入手することができた」などの声が寄せられた。

この他にも、蓄電池・EVなどの蓄電機能を併設した住宅用システムが1134件、住宅以外の太陽光発電システムが9件あり、これらのほとんどは自立運転機能を利用したと推測される。また、こうした蓄電機能併設システムのユーザーからは「約2日間問題なく生活できた」「近所が真っ暗な中、自宅のみが電気がついてた」など、普段と同じ生活ができたとの声が寄せられている。

一方で、住宅用太陽光発電システムで自立運用を活用しなかった理由を尋ねたところ「運転方法が判らなかった」（33件）、「自立運転機能があることを知らなかった」



つくる 創エネ

これからは「自家消費」の時代

つかう 活エネ

ためる 蓄エネ

自家消費・蓄電システム・営業支援ツール

詳しくはこちら▶▶

▶ Special一覧  
▶ 特集一覧/メディアガイド

### 印刷して読む 電子ブックレット

- > 改正FITで転機となった太陽光発電、今後求められる視点は何か
- > 太陽電池のEL検査、その必要性とメリットとは
- > 思わぬコストを回避する、発電量の簡単な評価方法とは
- > 太陽光発電設備のIVカーブ測定で分かること

### 人気記事トップ10

“卒FIT太陽光”の余剰電力を8円で買い取り、Web上で蓄電池販売も

“卒FIT太陽光”事業に参入のNTTスマイル、蓄電用「エコめがね」も新開発

停電を経験した住宅太陽光ユーザー、3割が非常用電源の機能を認知せず

トヨタが「水素バーナー」を新開発、工場CO2ゼロへ一歩前進

アルプス電気の工場新棟、1MWの太陽光発電を自家消費

“卒FIT太陽光”の一般認知度は4割、売電先の一番人気は「民間企業」

東電の支援で二チガスも電力販売へ、東京ガスへの対抗鮮明に

未利用の「酸性熱水」を使える地熱発電技術、NEDOが開発へ